

開催日時：令和7年11月6日（木） 14時00分から17時10分まで

開催場所：A301-302会議室

出席者：佐藤市長、高田副市長、熊谷教育長、清水総務部長、佐々木企画部長、下平リニア推進部長、牧内リニア駅周辺整備担当参事、林市民協働環境部長、下井ゼロカーボンシティ担当参事、林福祉部長、山崎こども未来健康部長、市瀬産業経済部長、浅野産業経済部参事、小倉建設部長、馬場建設部参事、岡本危機管理部長、井田上下水道局長、齊藤市立病院事務局長、福岡会計管理者、筒井議会事務局長、秦野教育次長、小澤財政課長、松井秘書課長、滝沢南信州広域連合事務局次長、澤柳企画課長

会議内容

1 理事者あいさつ

<市長>

- ・予算編成の基本方針は、来年度の当初予算のイメージを伝えることが趣旨である。まとめるまでの過程で重点事業の選定をしたことにより、査定を受けた感覚になっているかもしれないが、予算編成の作業はこれからであり、重点に選ばれているので大丈夫という話ではない。
- ・環境文化都市を標榜してから来年度で30年となる。10年先にはリニア中央新幹線の開業が見込まれる。喫緊の課題を解決することを前提として、先を見通した際に取り組むべき事項を考えて予算編成に臨むこと。
- ・再来年の市制90周年という一つの節目をどう捉えて取り組んでいくかも併せて検討すること。
- ・いいだ未来デザイン2028後期計画となり、基本目標が13から7にまとまったことより、バスケットの要素が強くなった。各基本目標に対して、自分の部局がどういうアプローチができるか検討すること。
- ・クマの出没に関して、市民は相当不安に思っている。出没情報が頻繁にあるものの、取れる手立てが非常に少ない。安全安心メールの情報や林務課が作成した「山林・山際におけるイベント等のクマ対策について」を確認し、市民からの問合せに対応すること。

<副市長>

- ・市議会第4回定例会では、指定管理者の指定に関する議案が多い。指定管理者制度の使用意図や運営状況、公共施設の在り方も含めて説明できるよう準備しておくこと。
- ・今年度末に指定管理期間が終了し、今後は指定管理者制度を使わない施設も出てくる。質疑があった際に対応できるよう整理しておくこと。
- ・財政見通しの暫定版が示され、起債や基金の残高が最新となった。財政見通しの公表を始めた頃と比べると、基金残高は想定より減少していないが、起債残高は想定以上に増加している。次の財政見通しも含めて今後の投資を長期的な視点で検討すること。

<教育長>

- ・郡市連合音楽会が開催され、全48団体が発表した。一校単独や一学年で参加することが難しく、団体として合同で参加する学校が増えている。
- ・コロナ禍前は大半の学校が参加していたが、コロナ禍を経て、自主参加に変わってきている。
- ・他郡市ではイベントの廃止が増えている中、工夫して続けることが大事だと感じた。
- ・人間関係の希薄化や地域の担い手不足の中、こどもを核とした保護者の協力は地域にとっても大事である。
- ・地域の良さを持続可能な形にしていくなめには、変わらないために変わり続けることが大事であると感じた。

2 報告事項

(1) ストレスチェック集団分析結果

◇趣旨

- ・ストレスチェック集団分析結果について報告する。

(2) 公用車の事故状況及び飲酒運転根絶の取組について（報告）

◇趣旨

- ・ 公用車の事故状況及び飲酒運転根絶の取組について報告する。

(3) 令和7年飯田市議会第4回定例会の付議案件について

◇趣旨

- ・ 令和7年飯田市議会第4回定例会の付議案件について報告する。

(4) 令和7年度一般会計補正予算（第5号）について

◇趣旨

- ・ 令和7年度一般会計補正予算（第5号）について報告する。

◇意見

（議会事務局長）

- ・ 初日に追加案件がある場合は、共有をお願いしたい。
- ・ 議案補足説明資料は告示日前日までに提出をお願いする。指定管理者の指定以外の議案補足説明資料の提出がある場合は、事前に担当へ連絡すること。

(5) 令和8年度予算編成方針について

◇趣旨

- ・ 令和8年度予算編成方針について報告する。

◇意見

（市長）

- ・ 暫定版の財政見通しに基づき、現段階で想定している各種事業や計画について、計画期間や事業費の見直しをせざるを得ない状況にある。各部局にてよく検討すること。

(6) 庁議等における事務の進め方について

◇趣旨

- ・ 庁議等における事務の進め方について報告する。

(7) 令和8年度戦略計画及び事務事業進行管理表等に関するスケジュールについて

◇趣旨

- ・ 令和8年度戦略計画及び事務事業進行管理表等に関するスケジュールについて報告する。

(8) 第2次飯田市中心部地域振興計画（後期の取組）について

◇趣旨

- ・ 第2次飯田市中心部地域振興計画（後期の取組）について報告する。

(9) 「飯田市西部山麓観光エリアビジョン」の策定について

◇趣旨

- ・ 「飯田市西部山麓観光エリアビジョン」の策定について報告する。

(10) 飯田都市計画 都市計画公園の変更について

◇趣旨

- ・ 飯田都市計画 都市計画公園の変更について報告する。

(11) 飯田市第13次消防力（消防団）整備計画（案）について

◇趣旨

- ・ 飯田市第13次消防力（消防団）整備計画（案）について報告する。

(12) 飯田市議会全員協議会（11/25）報告事項について

◇趣旨

- ・飯田市議会全員協議会（11/25）報告事項について報告する。

(13) 第4回定例会各委員会協議会報告事項について

◇趣旨

- ・第4回定例会各委員会協議会報告事項について報告する。

3 その他、連絡事項

(1) 障がい者雇用の取組について（総務部）

（市長）

- ・他市の状況は。

（総務部長）

- ・数年前まで数値が悪かった自治体が、各部で障がい者雇用を進めたことにより改善された。その他の自治体でも、基本的な目安を考え、調整しながら実現している。

（市長）

- ・採用のイメージを各部局で持てるよう各部局の具体的な仕事内容の情報を提供いただきたい。

（総務部長）

- ・各部局が未経験のため想像できない。一緒にやりながら職場の受容力を育てていかないと追いつかない。

（教育次長）

- ・精神障がいの方を雇用したが、職場環境の認識の違いから退職につながってしまった。精神障がいの方を雇用するにあたり、その方をフォローするシステムが必要である。

（市立病院事務局長）

- ・病院では算定の基準となる職員数から除外をする職員がいるため、資料に記載の必要雇用人数より少なくなる。精神障がいの方が多い中で、職場にどう馴染んでもらうか、仕事をどう理解してもらうかが必要であるため、お試し期間を設けて雇用を進めていく。具体的には3月までに1人雇用できるよう取り組んでいきたい。

（市長）

- ・対人関係を必要としない仕事の方が良いのか。

（市立病院事務局長）

- ・心の状況で仕事ができないことがある。

（市長）

- ・特性に合わせた働き方、働く場所、働くスペースを考える必要がある。
- ・先進事例を集めて共有すること。

(2) 基幹系業務システムの標準化について（企画部）

(3) 令和7年度の災害対応力強化の取組状況と今後の対応について（危機管理部）

4 閉 会